

第1回 市民運営協議会（男女共同参画センター横浜） 【開催日】 2018年2月8日（木）

【議題】

「第4期市民運営協議会の進め方について」

【説明】

第4期市民運営協議会は、「男女共同参画センターと地域との連携」を一貫としたテーマとし、1回ごとに具体的な検討課題を取り上げて議論していきます。第1回目は、以下の次第で進行了しました。

- 1 館長あいさつ（相談センター長 代理）
- 2 委員のご紹介
- 3 正・副会長の選出
- 4 市民運営協議会について（事務局より説明）
- 5 施設と事業概要について（事務局より説明）
- 6 第2回以降のテーマについて
- 7 施設のご案内（見学）

【意見交換の概要】

- ・『2 委員のご紹介』では、各委員の活動（業務）内容について紹介していただきました。また今期は聴覚障害をもつ委員を迎え、互いに理解しやすい場となるよう発言や資料の提示方法について共通のルール（※特記事項参照）を設けました。
- ・『3 会長・副会長の選出』では、清水会長、大高副会長が選出されました。
- ・『4 市民運営協議会について』では、協議会の設立目的と概要等について事務局より説明を行いました。協議会での議論の内容を、センターの事業や運営に活かしていくことが目的であることをお伝えしました。
- ・『5 施設と事業概要について』では、協会概要（パンフレット）に沿って主な事業について事務局より説明を行いました。
- ・『6 第2回以降のテーマについて』では、各回のテーマを決める前に、「地域連携」や「地域づくり」とは何かについて活発な意見交換がありました。第2回のテーマを「地域づくり」とし、それ以降については次回に検討することを決定しました。

【主なご意見】

- ・「地域づくり」と「地域連携」は異なる。連携ができて初めて地域づくりに発展することもある。フォーラムがめざすものによって、検討内容も変わってくる。
- ・地域との連携や協働を通じて男女共同参画の推進をすると掲げられているが、実際にフォーラムで行う事業とどのようにつながるのか、知りたい。
- ・薬物依存症者や刑務所を出所した人、事情があつて施設での生活を送る母子世帯など、困難を抱える人は欧米のように地域ぐるみであたたかく迎えてこそ立ち直りや安定した生活を支えることができる。センターがそのような場所になるのはどうか。
- ・具体的な連携案や地域づくりを考えるためにも、次回は各種の統計資料、現時点での利用者像、過去の連携事例や成功事例等があると良い。

【特記事項】

※共通のルールについて

手話通訳と資料を同時に見ることはできないため、資料を指し示しながら話すことを避け、ひとつずつ行うこと。また発言前に挙手し聴覚障害をもつ委員と目を合わせ、誰の発言かの認識を経た上で発言（手話通訳）を始めること。